

公益社団法人ガールスカウト日本連盟

2021 年度

事業計画



わたしが変わる。
未来が変わる。

2021 年度 ガールスカウト日本連盟 事業計画

日本連盟 使命：

少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として自ら考え、行動できる人となれるようにする。

ガールスカウト日本連盟 活動基本方針

ガールスカウトは

**少女と女性の視点に立って、より幸せな社会と未来の実現を目指し、
リーダーシップを発揮できる人材を育成するとともに、
社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして行動します。**

ガールスカウトは自らが行動していく運動です。日本では 100 年前から「自分で考え、行動できる女性」を育てるノンフォーマル教育に取り組んできました。ガールスカウトの少女たちは、人との関わりを通して、さまざまな役割と活動を経験していく中で、豊かな人間性を身につけていきます。そして、自分の人生を自分で切り拓く力をもった女性に育っています。

私たちのこれからの挑戦は「女性とその可能性を最大限に発揮できる社会環境をつくりあげていく」ことです。そのために、少女と女性の可能性を伸ばすことを妨げる問題に対して声をあげ、社会に変化をもたらす行動を積極的におこない、貢献していきます。

ビジョン 2032

ガールスカウトは、「すべての少女と女性が自分らしく生きられる社会」を目指して行動する女性を育てる。

ビジョン 2032 の達成の妨げとなっている課題を次のように 5 つに絞りました。

1. ねばならない意識が強い
2. 現代社会において、少女・女性が必要とする教育を、年代に合わせて適切に（質・量）提供できていない
3. 組織の運営や情報活用の方法が時代に適していない
4. 運動の仲間の減少が続いている
5. 社会に対してのアピール度が低い

これらの課題を、次の 2 点の方法で解決することを目指します。

- 会員全員の力を合わせて取り組む
- 仕組みを検討する

特にこの 3 年間は、以下のことに取り組みます。

- ・「やくそくとおきて」にある価値観をより共有し、活動に生かすことを目指す
- ・会員間のつながり・情報共有を強化し、さらに関わる人を増やすことで、活動の活性化を目指す
- ・ICT 等の活用により、地域を超えて協力し合える仕組みづくりを目指す
- ・ICT 等の活用により、事務的作業の効率化などを促進する
- ・現在進んでいる会員獲得や都道府県連盟運営の成功事例をマネ（模倣）する文化の醸成をはかり、国内外のガールスカウトの取り組み、他団体の事例からも学びを促進する

中期的には、システム変更も視野に入れ、ビジョンの実現に向けて、会員の力をより発揮できるよう検討を始めます。また、ガールスカウト運動が日本において持続可能になるために、日本連盟の運営方法・財政基盤の再構築のための検討を始めます。

2021 年度 事業計画

日本のガールスカウト運動 100 周年事業



事業名	期日・場所・内容など
コミュニティアクション チャレンジ 100 (CAC100) アワード	エントリー：随時受付 アワード応募締め切り：3月31日 最終審査：7月 表彰式：10月9日もしくは10日
100万人とつながるキャンペーン	年間
100周年記念ディナー	10月9日（土） 会場：明治記念館
国際ガールズメッセ テーマ：わたしの声から広がる世界	5月15日、8月：メッセンジャー集会 10月9日、10日：国際ガールズメッセ 会場：国連大学
インターナショナルキャンプ “Discover WOW” テーマ：Girls can change the world	5月、7月、11月、2月：ガールスカウトカフェ「インターナショナル編」 *キャンプ実施は2022年夏予定
100周年記念バッジ（～2023.3）	2019年度取り組み開始 目標取り組み者数：15,000人が取り組む
100周年に向けた資金調達活動（ファンドレイジング）	県連盟によるファンドレイジングの促進
100周年特設ホームページ 100周年の周知拡大	新規情報を随時更新

教育プログラム


(注： **W** 世界連盟プログラム **AP** アジア・太平洋地域プログラム)



事業名	期日・場所・内容など
SDGs への取り組み	ガールスカウト活動の全活動を SDGs と連動させて実施 SDGs バッジ取り組みの促進
W W	SDG5 の促進 <ul style="list-style-type: none"> ● Stop the Violence (STV^{***}) キャンペーン ・ me and them オンラインプログラムおよびジェンダー平等バッジ取り組みの促進 ・ 年少部門の教材開発 (ジェンダー平等バッジ) ・ VAV^{**}プログラムの実施の促進 会員外を対象としたプログラムの実施 対面活動用プログラムの開発 ・ 高校生意識調査
	<ul style="list-style-type: none"> ● Free Being Me (FBM[*]) 第2段階 ・ 「大好きなわたし」「行動編」プログラムの実施促進 パッケージプログラムの活用により、団での取り組み促進 (スカウト対象プログラム及び入会促進のための体験プログラム、保護者対象プログラム) ・ 県連盟での指導者養成・育成 ・ 会員外を対象としたプログラムの実施 (ダヴとの協働)
地区シニア部門事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ：SDGs FBM[*]や VAV^{**}、SDG5 の視点で SDGs に取り組む ・ 1 地区に対し、50,000 円を助成
レンジャー年代： 全国キャンプ	テーマ：未定 9月18日(土)～20日(月・祝) 2泊3日 戸隠ガールスカウトセンター(野営)
レンジャーonline 事業	テーマ：アドボカシー(詳細未定) 10月30(土)、31日(日)(オンライン)
国際理解支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外研修渡航費補助：総額100万円
Greener×Greener II	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境プログラムの取り組みとして、年間・全国国内の活動推進
オリンピックバッジの取り組み促進	団での取り組みの促進、世界での取り組み促進(～2022年3月)
防災・減災教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災マイスターアクティビティ集を活用した団でのプログラムの促進 ・ 体験活動、一般を対象としたプログラムの実施 ・ 防災科学技術研究所との協働事業の実施
AP ミャンマー連盟との協働事業	ユース年代対象 (Reach Out Project) 2019年9月からの取り組み 国際ガールズメッセへのミャンマー連盟の参加を予定

ワールド シンキングデイ	2022年2月22日(火)・全国 テーマ：未定
戸隠ガールスカウト センターを活用した 教育の実践	期日：4月24日(土)～11月8日(月) 会場：戸隠ガールスカウトセンター
教材等の出版・販売	年間
教育・指導者委員会	年間
SDG5推進委員会	年間

注) SDG5: ジェンダーの平等を実現しように向けて、(VAV バッジ、ジェンダー平等バッジ、FBM 大好きなわたしバッジ、FBM 行動編バッジ) の取り組み促進をおこないます。
 FBM* : Free Being Me VAV** : Voices Against Violence STV*** : Stop the Violence
 STV と VAV の関係について : Stop the Violence キャンペーンは、少女に対する暴力をなくすキャンペーンで、世界連盟全体で取り組んでいます。このキャンペーンには教育プログラムがあり、Voices Against Violence わたしの声とみんなの声プログラムがそれにあたります。また 2021 年度からは、「SDG5:ジェンダーの平等を実現しよう」の達成に向けて学べるよう、ジェンダー平等バッジを設けました。

成人のトレーニング

(注 :  世界連盟プログラム)

事業名	期日・場所・内容など
 トレーナー対象のトレーニング	トレーナーセミナー： 7月3日(土)、7月30日(金)、7月31日(土)、 8月21日(土)、8月22日(日)、10月16日(土)、 10月24日(日)、11月12日(金)、11月13日(土)、 12月25日(土)、12月26日(日)を予定(オンライン)
	トレーナーの単元I (オンライン)
	VAV アンバサダー対象相互研修 (オンライン)
 Stop the Violence キャンペーン 指導者の養成・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ VAV 指導者研修 (オンライン) ・ 2 時間研修 (VAV 入門編) の実施を促進 (全国) ・ ジェンダーに関する指導者の理解の促進
指導者研修	アドボカシー、ジェンダー等をテーマにした研修の実施(オンライン・複数回)
ガールスカウトトレーナー認定講習会・審査会	期日：2022年1月9日(日)～1月10日(月・祝) 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
プログラムトレーナー認定審査会	期日：2022年1月8日(土) 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

トレーナー養成・育成勉強会	日程：未定 会場：未定
海外研修本部派遣	・WAGGGS プログラム（ヘレン・ストロー セミナー等）等へ成人派遣 ・海外連盟プログラム紹介
リーダーへの支援	・教材開発 ・ホームページ充実
リーダー養成講習の開催	全国
リーダー養成講習・指導者研修指導者派遣	随時
トレーナーへの支援	年間
成人トレーニング委員会	年間
戦略委員会： 教育プログラム・指導者養成制度総合見直し	年間 ガールスカウト運動が持続可能で柔軟であるための教育プログラムと指導者養成制度の総合研究 ・教育プログラムの見直し ・指導者養成制度の見直し

組織と運営

事業名	期日・場所・内容など
連盟長会議	11月20日（土）～11月21日（日） 国立オリンピック記念青少年総合センター 各都道府県連盟より2人
新任連盟長研修	6月20日（日）（オンライン）
広報研修	7月～8月（オンライン）
役職別研修（連盟長含む）	8月～9月（オンライン）
都道府県連盟支援	随時 首都圏サポートプロジェクト 近畿地区サポートプロジェクト
組織・運営アドバイザーグループ	年間 県連盟および団への支援策に関する検討 ほか
顧問会	期日未定 会場：ガールスカウト会館（オンライン開催の場合あり）
評議員会	12月 会場：ガールスカウト会館（オンライン開催の場合あり）
理事会・理事連絡会	理事会6回／理事連絡会5回 会場：ガールスカウト会館（オンライン開催の場合あり）

理事研修	9月（オンライン開催の場合あり）
監査	5月4日（火・祝） 会場：ガールスカウト会館（オンライン開催の場合あり）
第93回定時総会	5月22日（土） 会場：ガールスカウト会館（オンライン）
第37回世界会議代表派遣	7月27日（火）～31日（土）（オンライン）
ガールスカウト 推進議員連盟総会	期日未定
地域支援事業	年間 ガールスカウト運動を推進する事業
戦略委員会： 新しいガールスカウト活動 を考える会	年間 ・特別個人会員制度導入 ・会員への情報提供のあり方の研究 ・アドボカシーの在り方についての検討（その後アドボカシー チームの設置）
『Girl Scouts' News』	vol.9、vol.10 発行 全会員対象
事務局の強化	年間

会員

事業名	期日・場所・内容など
おやこでチャレンジ （秋入会促進事業）	全国
春の体験集会 （春入会促進事業）	全国
ガールスカウトの日 （春・夏入会促進事業）	全国
会員継続の支援	年間
会員登録	年間（特別個人会員の登録を含む）
会員データベースの活用	年間
会員増のためのデータ分析	4月～7月 データ分析プロジェクト（横浜市立大学との協働 プログラム）
表彰	功労章、永続奉仕章、団永続章、感謝状等

社会との関係

事業名	期日・場所・内容など
社会への発信のための 全国活動	5月22日（土）ガールスカウトの日（全国一斉で実施）
	10月11日（月）国際ガールズ・デー（国際ガールズメッセとして実施）
	11月 女性に対する暴力防止パープルライトアップ
	2022年2月22日（火）ワールドシンキングデイ
	2022年3月8日（火）国際女性デー
KIZUNA Day	2022年3月11日（金）
ガールスカウトのPR	年間
広報資料の作成	年間
ホームページ等の運営	年間
SNSの活用	年間
社会との連携	年間
他団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学等での VAV プログラムを活用した出前授業の実施 ・ デートDV防止全国ネットワークとの連携 ・ ジョイセフとの協働（少女・女性の健康） ・ ワコール「つぼみスクール」（少女・女性の健康） ・ マイクロテクノロジーとの協働事業実施（STEM） ・ 防災科学技術研究所（防災） ・ NTT 東日本、公衆電話会（防災） ・ 日本損害保険協会「小学生の防災探検隊マップコンクール」（防災・防犯・交通安全） ・ 教育協力 NGO ネットワーク「SDG4 教育キャンペーン」（アドボカシー） ・ プラン・インターナショナル・ジャパン「読書感想文コンクール」（国際理解） ・ ケアインターナショナル・ジャパン「Walk in Her Shoes」ジュニアアンバサダー（国際理解） ・ 内閣府国際交流事業への派遣への推薦（国際理解） 他
調査	少女・女性に関する調査と報告書の作成

財政

事業名	期日・場所・内容など
ガールスカウト会館の運営	年間
戸隠ガールスカウトセンターの運営	春期利用：4月24日（土）～7月9日（金）
	夏期利用：7月16日（金）～8月29日（日）
	秋期利用：9月1日（水）～11月8日（月）
助成金の獲得	年間
寄付金の拡大	一般寄付、マンスリー募金、賛助会費、賛助会員トレフォイル等寄付の募集。（内外の新規寄付者の開拓）
グッズ販売事業	年間
賛助会員 トレフォイルの集い	10月9日（土） 会場：未定（東京）
予算委員会	11月 会場：ガールスカウト会館（オンライン開催の場合あり）
戦略委員会： 組織・財政長期戦略検討	年間 ・ガールスカウト運動が持続可能であるための組織のあり方、 財政のあり方を検討 ・長期的視野で、日本連盟としての財政基盤を盤石にするための方策（財源の多様化、資産のあり方を含む）の検討
ファンドレイザーグループ	ガールスカウトへの寄付者の継続及び新規開拓のための働きかけの実施

ガールスカウト日本連盟制定の日

名称	期日
ガールスカウトの日	5月22日（1988年～） 第二次世界大戦の勃発により一時解散しましたが、終戦後、子ども達から喜びや笑顔がなくなってしまったことを憂い、日本女子補導団時代の関係者が1947年（昭和22年）の5月22日に集まってガールスカウト運動を再興すべく、ガールスカウト中央準備委員会を発足させました。この日を記念して5月22日を「ガールスカウトの日」としました。
戸隠を想う日	6月8日（2016年～） 1958年（昭和33年）6月8日に清水総主事・三角主事・洲崎キャンプ委員長（いずれも当時）が戸隠を視察し、キャンプ場の場所を決定する契機となったことから、6月8日を「戸隠を想う日」として制定しました。先人の想いをつなげ、戸隠ガールスカウトセンター維持のために、6月を戸隠募金推進月間とします。
KIZUNA Day	3月11日（2014年～） 東日本大震災の日（2011年（平成23年）3月11日）を、防災の意識や技術を高めるとともに、震災の記憶や復興への思いを風化させない日として、3月11日を「KIZUNA Day」に制定しました。

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 ビジョン：

すべての少女と若い女性の一人ひとりが尊ばれ、世界を変えるために行動を起こす

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 使命：

少女と若い女性が責任ある世界市民として、自らの可能性を最大限に伸ばせるようにする

創始者ベーデン-ポウエル卿のことば

ガールスカウト運動の目的は、
少女と若い女性を3つのHを持つ市民、すなわち
心身ともに健康（Health）で、人に役立つこと（Helpfulness）に
幸せ（Happiness）を感じることができる市民に育てることである。



ベーデン-ポウエル卿とオレブ ベーデン-ポウエル

ガールスカウト日本連盟歴史的覚書

1920年、英国聖公会の宣教師で、東京の香蘭女学校に教師として赴任したミス・グリーンストリートが、英国で始まったばかりのこの運動を伝え、イギリス連盟の日本支部として活動が始まった。その後、全国の英国聖公会の教会や女学校を拠点にして活動が広まり、1923年に、ガールスカウト日本連盟の前身となる日本女子補導団となった。1928年ハンガリーで開催された第5回世界会議で、ガールガイド・ガールスカウト世界連盟の創設が決定し、日本女子補導団はその創設会員のひとつとなった。その後1939年まで世界連盟の会員であった。日本が第二次世界大戦へと進む中、この運動が国際間の友情をはぐくむことを目的の一つとしていたため解散を余儀なくされ、1942年に自ら解散することを決定した。

戦後1947年に、日本女子補導団当時のメンバーが、「日本の少女たちのための活動を」と再びこの運動を日本国内で始めるために集まり、GHQの支援も得て、アメリカ流の『ガールスカウト』という名称で再開し、ガール・スカウト日本連盟を結成した。1952年には文部省（現 文部科学省）の主管で社団法人ガール・スカウト日本連盟が発足した。

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟へは、1952年1月に加盟申請を提出した。1952年8月、ノルウェーで開催された第14回世界会議で準加盟が認められ、1960年、ギリシャで開催された第17回世界会議で正加盟が認められた。

1966年、第19回世界会議が東京で開催された。

2012年、社団法人ガールスカウト日本連盟は、日本の法律改正により、公益社団法人ガールスカウト日本連盟へと移行した。

(ガールスカウト日本連盟 基本綱領 抜粋)